

令和7年
5月1日

No.261

まつど議会だより

発行／松戸市議会
編集／広報委員会
千葉県松戸市根本387-5
TEL 047(366)7382



松戸市議会の情報はホームページからもご覧いただけます。(https://www.city.matsudo.chiba.jp/gikai/index.html) 右のQRコードもご利用ください。

「第3期松戸市子ども総合計画」を策定しました! ～すべてのこどもに「十人十色」の輝く未来を!～

松戸市では、こどもや子育て当事者の声、近年の社会動向等を踏まえて、令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする「第3期松戸市子ども総合計画」を策定しました。

本計画では、“すべてのこどもに「十人十色」の輝く未来を!”という基本理念を掲げ、今後5年間で取り組むこども施策を体系化し、妊娠・出産・子育て期を通じて切れ目のない、きめ細かな支援を展開することで、全てのこどもや子育て当事者が、孤立感や負担感、経済的な不安等を抱くことなく、将来にわたって自分らしく幸せに暮らせる「まつど」を目指します。

●問い合わせ先 子ども政策課
TEL 047(704)4007

第3期松戸市子ども総合計画
(令和7年度～令和11年度) | 松戸市
https://www.city.matsudo.chiba.jp/shisei/keikaku-kousou/kodomo_sougoukeikaku/3rd_plan.html



まつど高校生 “こどもまんなか” アイデア・イラストコンテスト (令和5年度開催)
イラスト部門 最優秀賞「十人十色」
千葉県立松戸国際高校 鈴木 まやさん

市議会トピックス

- 令和6年度松戸市一般会計補正予算(第9回)を可決
補正額 63億3,169万9千円
- 令和7年度松戸市一般会計予算を可決
予算額 1,949億8千万円
※詳細は3面に掲載しています。

意見書1件提出

地方自治法第99条の規定により国会および関係行政庁に対し、以下の意見書を提出しました。

- 若者の政治参加を促進する抜本的改革を求める意見書

人事案件

教育委員会委員の任命および人権擁護委員候補者の推薦に同意しました。(敬称略)

- 教育委員会委員
- 人権擁護委員候補者

なか	にし	しげる
中	西	茂
おか	だ	か
岡	田	佳世子
た	なか	よし
田	中	祥隆

3月定例会

令和7年3月定例会を2月21日から3月25日まで開催しました。今定例会では、市長・教育長の施政方針等に対する各会派の代表質問を行いました。

また市長から提出された専決処分2件の報告を承認し、教育委員会委員の任命議案1件、人権擁護委員候補者の推薦議案2件それぞれに同意しました。さらに6年度補正予算案10件を可決しました。

このほか市長から提出された7年度予算に関する議案12件や、条例などの一般議案26件を、それぞれの委員会において審査しました。

最終日には、これらの案件のほかに議員提出議案7件を上程し、採決しました。

(2・3面に審議結果、3面に予算審査の質疑、4面に討論を掲載)

松戸市議会の情報を
ホームページで公開しています

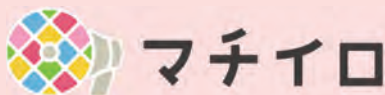
本会議の様子は「インターネット議会中継」でご覧いただけます。



松戸市議会



議会中継



スマートフォン・タブレット用アプリ「マチイロ」を利用して議会だよりを配信しています。アプリは無料でダウンロードできます。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

声の議会だよりをご利用ください

松戸朗読奉仕会の協力を得て視覚障害の方を対象に、議会だよりを朗読した録音物を提供しています。

- 問い合わせ先
松戸市障害者福祉センター(ふれあい22内)
TEL 047(383)7111



3月定例会 審議結果

■賛否など態度が分かれた市長提出議案（2月28日議決） 賛否などの態度決定に至った理由等は、市議会ホームページに掲載しています。

番号	件 名	付託先委員会	本会議の結果	市民クラブ										公明党										まつどみらい				日本共産党		政策実現 フォーラム・社民		立憲民主党																
				末松裕人	石井 勇	広瀬 優斗	大和山太郎	西田善昭	中村典子	大塚健児	大谷茂範	鈴木大介	渋谷剛士	箕輪信矢	杉山由祥	市川恵一	深山能一	飯箸公明	高橋伸之	芦田満春	丹呉顕子	井出昌明	鈴木智理	岩瀬麻尚	松尾英一	伊東正幸	織原 博	大橋 裕	石塚光利	柿沼睦生	岡本優子	宇津野史行	ミール計恵							嶋村新一	山口正子	原 裕二	D E L I 薫	増田鈴子	工藤鈴子	二階堂剛	関根ジロー	戸張友子
第54号	令和6年度松戸市一般会計補正予算（第9回）	総務 財務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第55号	令和6年度松戸市国民健康保険特別会計補正予算（第2回）	健康 福祉	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第56号	令和6年度松戸市松戸競輪特別会計補正予算（第1回）	建設 経済	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第58号	令和6年度松戸市介護保険特別会計補正予算（第2回）	健康 福祉	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第59号	令和6年度松戸市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）	健康 福祉	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第60号	令和6年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1回）	建設 経済	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	
第61号	令和6年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計補正予算（第1回）	建設 経済	可決	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	

○：賛成 ×：反対 議長は表決に加わらないため「/」と表示しています。
令和7年2月28日時点での議員名および所属会派を記載しています。

■賛否など態度が分かれた市長提出議案（3月25日議決）

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	市民クラブ										公明党										まつどみらい				日本共産党				立憲民主党			政策実現 フォーラム・ 社民		湯浅文	嶋野聡	鴈野啓之	山中啓之												
				末松裕人	石井勇	広瀬優斗	大和山太郎	西田善昭	中村典子	大塚健児	大塚茂範	鈴木大介	渋谷剛士	箕輪信矢	杉山由祥	市川恵一	深山能一	飯箸公明	高橋伸之	芦田満春	丹呉顕子	井出昌子	鈴木智明	岩瀬麻理	松尾尚	伊東英一	織原正幸	大橋博	石塚裕	柿沼光利	田中睦生	岡本優子	宇津野史行	ミール計恵	嶋村新一	山口正子					二階堂剛	増田薫	戸張友子	原裕二	D E L I	工藤鈴子						
第64号	令和7年度松戸市一般会計予算	予算審査特別委員会	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×							
第65号	令和7年度松戸市国民健康保険特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○								
第66号	令和7年度松戸市松戸競輪特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○						
第68号	令和7年度松戸市駐車場事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
第69号	令和7年度松戸市介護保険特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○					
第70号	令和7年度松戸市後期高齢者医療特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○				
第71号	令和7年度松戸市松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×						
第72号	令和7年度松戸市相模台地区土地区画整理事業特別会計予算		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	×					
第74号	令和7年度松戸市病院事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	×						
第76号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定	総務財務	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○					
第90号	松戸市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	健康福祉	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				
第92号	松戸市専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例の制定	教育環境	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
第94号	松戸市駐車場条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
第96号	松戸市下水道条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
第99号	松戸市水道事業の布設工事監督者及び水道技術管理者に関する条例の一部を改正する条例の制定	建設経済	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ×：反対 議長は表決に加わらないため「/」と表示しています。
令和7年3月25日時点での議員名および所属会派を記載しています。

■全会一致の市長提出議案

番号	件名	付託先委員会	本会議の結果	番号	件名	付託先委員会	本会議の結果
第52号	専決処分の報告及び承認（令和6年度松戸市一般会計補正予算（第7回））	—	承認	第80号	松戸市一般職の職員の給与に関する条例及び松戸市一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決
第53号	専決処分の報告及び承認（令和6年度松戸市一般会計補正予算（第8回））	—	承認	第81号	松戸市技労職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決
第57号	令和6年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1回）	建設経済	可決	第82号	松戸市職員退職手当支給条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決
第62号	令和6年度松戸市病院事業会計補正予算（第2回）	健康福祉	可決	第83号	松戸市市税条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決
第63号	令和6年度松戸市下水道事業会計補正予算（第2回）	建設経済	可決	第84号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定（確認申請等手数料等関係）	建設経済	可決
第67号	令和7年度松戸市公設地方卸売市場事業特別会計予算	特別審査委員会	可決	第85号	松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定（宅地造成等に関する工事の中間検査の申請手数料関係）	建設経済	可決
第73号	令和7年度松戸市水道事業会計予算		可決	第86号	松戸市教育振興審議会条例の制定	教育環境	可決
第75号	令和7年度松戸市下水道事業会計予算		可決	第87号	松戸市障害者介護給付費等審査会条例の一部を改正する条例の制定	健康福祉	可決
第77号	松戸市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	第88号	松戸市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	健康福祉	可決
第78号	松戸市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	第89号	松戸市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の制定	健康福祉	可決
第79号	松戸市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務財務	可決	第91号	松戸市自殺対策推進会議条例の制定	健康福祉	可決

番号	件 名	付託先 委員会	本会議 の結果
第93号	松戸市道路照明灯再LED化事業プロポーザル選考委員会条例の制定	建設 経済	可決
第95号	松戸市下水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例の制定	建設 経済	可決
第97号	松戸市消防団員退職報償金支給条例の一部を改正する条例の制定	総務 財務	可決
第98号	松戸市公営企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定	総務 財務	可決

■議員提出議案

番号	件 名	付託先 委員会	本会議 の結果	採決
第24号	千葉県営水道料金の値上げ中止を求める意見書	—	否決	多数意見
第25号	選択的夫婦別姓制度の法制化を早期に求める意見書	—	否決	多数意見
第26号	子どもの権利救済機関の設置を求める意見書	—	否決	多数意見
第27号	訪問介護の基本報酬をはじめとした介護報酬の引上げを求める意見書	—	否決	多数意見

番号	件 名	付託先 委員会	本会議 の結果
第100号	契約の変更	建設 経済	同意
第101号	教育委員会委員の任命（中西茂氏）	—	同意
第102号	人権擁護委員候補者の推薦（岡田佳世子氏）	—	同意
第103号	人権擁護委員候補者の推薦（田中祥隆氏）	—	同意
第104号	松戸市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定	総務 財務	可決

令和7年度当初予算

会 計 名		予 算 額
一 般	総務費	164億 65万7千円
	民生費	975億3,254万7千円
	衛生費	151億2,284万2千円
	労働・農林水産業費	4億2,529万8千円
	商工費	8億8,624万2千円
	土木費	157億 865万2千円
	消防費	68億6,009万6千円
	教育費	262億1,106万1千円
	その他	158億3,260万5千円
計		1,949億8,000万円
特 別	国民健康保険	419億 558万1千円
	松戸競輪	343億6,595万1千円
	公設地方卸売市場事業	1億 234万5千円
	駐車場事業	1億7,400万2千円
	介護保険	440億1,692万2千円
	後期高齢者医療	81億7,001万円
	新松戸駅東側地区 土地区画整理事業	16億2,586万1千円
	相模台地区土地区画整理事業	8,150万6千円
計		1,304億4,217万8千円
企 業	水道事業	24億7,825万9千円
	病院事業	315億5,211万6千円
	下水道事業	186億8,440万5千円
	計	527億1,478万円
合 計		3,781億3,695万8千円

予算規模は、前年度比 138億8,458万8千円 3.8%増

予算審査特別委員会の審査から

令和7年度予算(12会計)を可決

予算審査のあらまし

- 本会議

2/21

市長が12会計の予算議案を提出
- 本会議

3/5

予算審査特別委員会を設置
- 予算審査特別委員会

3/17

予算審査特別委員会で審査
- 本会議

3/18

総務費および土木費における一部の予算措置理由が認めがたいとして一般会計予算の修正案が提出されたが、採決の結果、多数意見をもって否決
- 本会議

3/19

委員会審査では、12会計について可決すべきものと決定
- 本会議

3/21

審査結果を報告・質疑・討論・採決
- 本会議

3/25

12会計を可決

予算審査特別委員会委員

委員長	伊 東 英 一
副委員長	大 和 山 太 郎
委員	嶋 村 中 新 一 田 丹 呉 睦 生 丹 広 瀬 頭 子 増 田 優 斗 D E し 薫 中 村 典 ー 岩 瀬 麻 子 杉 山 由 理 祥

一般会計

総務費

問 庁内手続き案内システム関係経費の具体的な内容を伺う。

答 市民が簡単な質問に答えるだけで最適な手続き方法等の情報を入手できるシステムである。スマートフォン等から利用が可能であり、対象業務としては引越越し結婚等のライフイベントや証明書発行等の取扱件数が多い手続きを中心に構築し、市民サービスの向上と業務の効率化を推進していく。

問 位置情報ビッグデータサービス利用について、どのような業務への活用を想定しているか伺う。

答 観光、経済振興において、イベント開催時の道路混雑状況の分析等への活用や人流の傾向から混雑緩和および事故発生防止を未然に防ぐための準備や計画の策定等に活用できる見込みである。

一般会計

民生費

問 グリーンスローモビリティ車両の故障が多いと聞くが、不具合の実態について伺う。

答 重大なものではなく軽微な不具合等が発生している。グリーンスローモビリティ車両は技術的に確立していない部分もあり、不具合の原因究明を含め、メーカーと連携しながら解消に努めている。

問 子ども食堂における運営費補助を延長する理由について伺う。

答 運営費補助を延長する理由については、子ども食堂が子どもの貧困対策や孤立防止だけでなく、子どもや保護者をはじめとした地域の憩いの場として、より重要な役割を果たすようになったことや、食材の急激な価格高騰により、運営者から補助事業の継続を望む声が多く寄せられたためである。

一般会計

土木費

問 常磐線快速列車新松戸駅停車資料作成委託について、事業の可否をいつ判断するのか伺う。

答 財源確保についての課題を抽出し、その対応策の検討やこれまでの成果をもとに基礎データを整理する。また本市とＪＲ東日本が共に快速列車停車に向けた具体策を検討した上で、方向性を示したいと考えていることから、その判断材料とするための調査を実施したいと考えている。

問 21世紀の森と広場施設関係業務について、西口トイレの改築工事の詳細を伺う。

答 男女用トイレの他、車椅子での利用ができるオストメイトやユニバーサルシート等を備えた多機能トイレを設置し、全て洋式化するものである。

一般会計

教育費

問 始業前の児童見守りについて、事業内容と開始経緯を伺う。

答 事業内容は学校の昇降口が開く前に登校の必要がある児童を見守る事業で、全小学校にて実施する。開始経緯として保育園では朝7時から子どもを預けられるが、小学校は昇降口が開くまで預け先がなく、共働き世帯等が働きにくくなる問題に対応するためである。

問 就学援助事業について、生活保護基準を改めた根拠を伺う。

答 令和5年に文部科学省が実施した就学援助実施状況調査によると、全国の半数以上の自治体が、生活保護基準の1・3倍以下との結果であった。この状況に鑑み本市でも、より多くの就学が困難な児童生徒が援助を受けられるよう基準を1・3倍以下に改めた。

特別会計

松戸都市計画事業
新松戸駅東側地区
土地区画整理事業

問 事業費全体の見込みは令和7年度中に示されるのか伺う。

答 全体事業費に関しては立体換地建築物実施設計業務の完了後、土木工事費・建築工事費等を総合的に勘案し、現状に合わせて再度取りまとめていく。本事業は千葉県から事業認可されており、事業費の変更は事業計画変更の認可が必要となる。事業計画変更の認可をもって、変更後の事業費を公表することができるようになるため、現在、第2回事業計画変更に向けて準備を行っている。また認可権者である千葉県との協議・調整等が必要となることから、ずれ込むことも考えられるが、7年度末の事業計画変更認可を目指している。

企業会計

病院事業

問 市立総合医療センターにおける直近の病床稼働率を伺う。

答 令和7年2月の稼働率は、90・9％、1月は88・4％であり、直近では高い稼働率である。

問 市立総合医療センター附属看護専門学校の給排水管改修工事の内容は。また改修工事期間中における学生への影響を伺う。

答 改修工事の内容は給排水管等および学生用トイレの改修を2年計画で行うものである。工事期間中は、通常授業に支障を来さないよう音や振動が出る作業を夏休み期間中に集中して実施する。またトイレの使用ができない期間が4カ月ほど予想されているため、仮設トイレの設置や職員用トイレの開放等対応を検討し、学生への影響が最小限となるよう配慮する。

予算討論



令和7年度予算案について、10人の議員が定例会最終日に討論を行いました。
ここでは、会派の討論を掲載します。
割り当てられた討論時間に応じた紙面配分で掲載しています。

市民クラブ

令和7年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

新年度予算は、世情変化へ対応した予算となっているか等に着目し、より慎重な判断と明確な価値基準に基づき施策を展開する必要性を前提に審査を行った。

一般会計の総務費では「デジまつ」や「メタまつ」等デジタル技術を活用した市民と市役所がつながる行政サービスでの市民ニーズへの対応を評価しつつ、多角化による市民の困惑に注意し利便性向上と業務効率化に努めるよう要望する。また6年度より総務費に組み込まれた文化スポーツ部は、教育分野だけでなく広域的な役割の中で精力的な取り組みを評価する一方、業務量を過剰に抱える懸念がある。文化スポーツ創造のまち推進方針策定委託料は、方針策定にあたり本市が捉える文化の定義を示し、地域コミュニティ支援、活性化やプロスポーツ誘致に向け、本市発展への寄与を期待する。民生費では、超少子高齢化社会の中で必要な支援が多様化している。高齢者つながり協力員事業は、高齢者の見守り活動を通じて共助や社会参加を促し、介護予防の活性化を図る点を評価する。後年度以降の事業評価を行うよう要望する。衛生費では、簡易血糖検査について、

将来の医療費抑制に寄与する重要な事業である。現在は薬局等で高額な機械を利用し検査しているが、実施薬局が少なく、機械購入補助等の検討を要望する。

土木費では、常盤平駅周辺まちづくり関係委託料について、地域に顕在化する教育の課題解決も含め、活気あふれる街へのリニューアルに向けた地域住民との合意形成に配慮し、民間の力を活用し、庁内一丸となった取り組みを要望する。

教育費では、始業前の児童見守りについて「小1の壁」の解消に向けた千葉県内初の取り組みであり、消防局と連携し研修実施等を行う安全面の配慮を評価し、共働き家庭等の負担軽減を期待する。

新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計では、地権者に丁寧な説明をしながら進めていると認識している。今後の工事費高騰に懸念はあるが、市の負担額減少に努めるよう期待する。

病院事業会計では、無尽蔵に一般会計から繰り入れることはできないため、独立行政法人化等の選択肢を排除せず、まずは早急に抜本的経営改革を行い、市民の生命・健康を保持する役割を要望する。

公明党

令和7年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

新年度予算の審査については、子どもから高齢者まで一人一人の市民に寄り添った予算となっているか。また本市の未来を見据えた予算となっているか。さらに災害対策・安全対策の強化が図られているかに重点をおいて、審査を行った。

一般会計の総務費では、防犯カメラが市内7公園に8基設置されることにより、防犯効果が高まることを期待するとともに、今後も設置を拡大することを要望する。スポーツ施設管理運営事業および小中学校施設整備事業については、市内スポーツ施設体育館および全小中学校体育館に災害対応型空調設備の設置工事が行われる。この空調設備は災害時に停電しても、ガスを供給することで運転が可能

となる。また電源も確保できることから、避難所内での照明やスマートフォンの使用も可能となる。今後、事業を推進していくことを願う。

土木費では、自転車駐車場管理運営事業について、混雑する松戸・新松戸・八柱の駐輪場が満車かどうかスマートフォンからの確認が可能となることから、利用者の利便性が向上することを期待する。

教育費では、地方創生臨時交付金を活用し、市内小中学校全ての児童生徒を対象に令和7年度1学期の学校給食費が無償化となった。ただし国では8年度から小学校の給食費無償化を打ち出しており、また本市では、7年度予算を物価高騰緊急応援予算と銘打っていることから、引き続き、1学期のみではなく、2学期および3学期も無償化を実現すべきと考え、前向きに検討するよう要望する。

以上、国が進めようとしている施策を本市はいち早く取り入れ、着実に進めていることを評価し、さらに重要な事業、推進するべき事業が多く含まれている予算であることから、賛成する。

まじでみらい

令和7年度一般会計、各特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計の総務費では、業務改革支援について、新庁舎整備も含め全庁的に足並みをそろえ進めてもらいたい。また松戸運動公園体育館改修等について、バリアフリー化や空調設備の設置で誰もがスポーツに親しめる環境整備と災害時の利用が可能となる改修を高く評価する。

教育費では、フリースクール等利用児童生徒支援補助金について、利用者の支援とともに、フリースクールの調査研究と捉え1学期限定でなく、1年を通しての検証を本市独自の予算でも検討いただきたい。また博物館管理運営事業について、博物館改修前の実質的なトリを飾る展覧会が「人生儀礼」であることは感慨深く、自身が経験した歴史や博物館リニユーアルオープンへ思いをはせながら楽

しむ資料展の成功に大きな期待をしたい。病院事業会計は、7年4月から「小児救命救急センター」に指定されることは、これまでの実績が認められ、市民の子育て環境にとって、さらなる安心感につながることであるため喜ばしい。市立総合医療センターは民間病院と違い、市民の命を守る最後のとりでとして、政策医療を提供する中で収益確保という難しい課題をクリアし、一般会計の負担を少なくする努力をお願いする。

日本共産党

令和7年度一般会計、国民健康保険、競輪、駐車場事業、介護保険、後期高齢者医療、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業、相模台地区土地区画整理事業特別会計に反対し、その他特別会計および各企業会計に賛成する。

一般会計について、物価高騰対策等タイムリーさや緊急性、社会的な弱者への支援を評価する事業もあるが、審査の中で課題が確認でき、次により指摘する。

新庁舎管理では、最終形はまだ流動的であることから、市民が新庁舎整備基本計画案の内容をパブリックコメントの実施段階で知るのはなく、規模を大きくした情報共有をする手だてを求める。

市営住宅では、学生や単身若年層にも入所対象者を広げる必要性を求める。教育費では、教育ICT運営支援センター委託料がタブレット経費と同様に市負担となる。一方、病気休暇等の代替教職員の不配置は改善されず子どもたちの学習権を十分保障できていない。現場が求めているものは、授業や担任ができる職員の配置であり予算化を強く求める。

新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計は、市民や議会への情報不足や市民との合意形成が不十分なため反対する。

立憲民主党

令和7年度一般会計、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、国民健康保険、競輪、

公設地方卸売市場事業、駐車場事業、相模台地区土地区画整理事業特別会計および各企業会計に賛成する。

特別会計の新松戸駅東側地区土地区画整理事業では、当該地区の駅前整備については賛成であるが、駅前整備を理由に、多額の税金をかける必要性に疑問を持ち続けてきた。加えて合意できていない地権者の悲鳴を受け止めない市の姿勢に強く抗議する。また個人情報保護を盾に土地区画整理審議会委員以外の住民は街の全体像を知ることができない状況が続いており、まるで地権者の土地・家の全てが市のものになったかのようである。さらに合意できていない地権者を追い込むような事業の進め方は大いに問題があり、情報公開度は極めて低い。こうした市の姿勢は冷淡で人権意識が低いと言わざるを得ず、事業の必要性が本末転倒であるため反対する。

政策実現フォーラム・市民

令和7年度一般会計、松戸都市計画事業新松戸駅東側地区土地区画整理事業特別会計に反対し、競輪、公設地方卸売市場事業、駐車場事業、相模台地区土地区画整理事業特別会計および各企業会計に賛成する。

今後、街づくりへの投資や公共施設再整備等のための貯金を持たなければ、これらの投資はほぼ借金で賄うことになる。これからは、市のために良い事業だとしても、他の事業に先んじて行わなくてはならない事業なのか、市民生活に直結するものなのか等を判断し、その優先順位をつけていかなければならない。こういった観点から一般会計の新庁舎整備基本計画策定委託料および常磐線快速列車新松戸駅停車資料作成委託料について、修正削除する修正案を提出したが、否決された。その他の原案の中には、市民生活に関わるものや応援していきたい事業も多数含まれているが、今こそ警鐘を鳴らさなければならぬと考え、原案についても苦渋の選択であるが、反対する。

委員会の審査から

2月25日・3月7日・10日・11日・12日に各常任委員会を開催し、提出された議案について審査しました。
ここではその審査の中で一部の質疑・答弁（要点）を掲載します。（審議結果は2面に掲載）

総務財務 常任委員会

議案第54号 令和6年度松戸市一般会計補正予算（第9回）

問 がん患者支援事業について、予算の増額理由および事業の周知状況を伺う。

答 令和6年度から新たにウィッグおよび胸部補整具購入費の助成を開始したが、事前周知の効果もあり、当初想定した150件の約2倍の申請が見込まれることから、増額を要求した。事業の周知方法については、近隣のがん診療連携拠点病院や千葉県がん診療連携協力病院、松戸市医師会、医療機関等に事業のリーフレ

教育環境 常任委員会

議案第86号 松戸市教育振興審議会条例の制定について

問 本審議会で調査審議する松戸市教育振興基本計画策定に至った理由を伺う。

答 これまでは学びの松戸モデルを指針とし、教育関連個別計画と強く結びつけ施策を展開してきた。しかし令和5年度国の第4期教育振興基本計画が策定され、本計画は4年度全面実施された学習指導要領の要素等盛り込む大規模な教育改革と言われている。また千葉県で6年度中に新たな教育振興基本計画を策定す

健康福祉 常任委員会

議案第62号 令和6年度松戸市病院事業会計補正予算（第2回）

問 市立総合医療センター別棟建設事業が入札不調となった理由を伺う。

答 令和6年3月の入札公告後、入札業者が予定価格内での応札が困難として辞退したためである。入札辞退の具体的な理由としては、働き方改革による4週8閉所での取り組みや残業規制に加え、都市部の大規模再開発やデータセンター等における建設事業の影響により、工事件数が受注過多となり、労務単価が上昇

建設経済 常任委員会

議案第85号 松戸市手数料条例の一部を改正する条例の制定について（宅地造成等に関する工事の中間検査の申請手数料関係）

問 本条例の改正は、通称「盛土規制法」の改正に起因しているものだが、この改正による市の安全性確保の在り方は、どのような影響が生じるのか伺う。

答 改正前の同法による規制区域は市域の6分の1程度と限定的な区域であったが、改正法により市域の全域が宅地造成等工事規制区域に指定される。これにより一定以上の切土や盛土

定で、この流れを受け国との整合性をさらに図るため、本市の教育振興基本計画を作成し、教育行政の推進と教育改革を加速させたい。

議案第92号 松戸市専用水道の水道技術管理者の資格を定める条例の一部を改正する条例の制定について

問 水道法施行令等の改正において、国が水道技術管理者の資格要件を緩和した理由を伺う。

答 水道整備管理行政に関わる職員数の減少に伴い、布設工事管理者や水道技術管理者の確保が困難となっていることから、小規模事業者における技術上の実務経験年数等、要件の見直し等を行った。

教育施策方針について

問 教育振興基本計画策定に当たって教育長のビジョン等を伺う。

答 本計画策定に当たり新たに教育振興審議会を設置するほか、市民から意見を頂き、令和7年度中の策定を目指していく。さらに計画策定後、国が進める教育改革「令和の日本型学校教育」の内容を含めた学校教育指導指針に改定するほか、望ましい教育環境や適正規模・適正配置の基準を含むこれからの学校施設の在り方についての検討も開始する予定である。これからの本市教育行政を進めるための羅針盤となるような計画を策定し、教育のためのより良い環境を整え、全ての人がウェルビーイングを感じ、笑顔になれるような教育施策を展開していきたいと考える。

市民クラブ

杉山 由祥

市政全般について

問 現在の物価高騰等が本市財政に与える長期的な影響について伺う。

答 新拠点ゾーンをはじめとするまちづくりを進めていくことは、子育て世代の定住化、人口流入の促進等による好循環を実現するもので、市税構造の変化にも寄与する等、本市の将来的な発展にも資するものと捉えている。日本経済を取り巻く環境は変化し続けており、物価動向や賃金上昇に伴う税収の影響等、いまだ不透明な状況であることから、その変化を慎重に見極めた上で、必要な施策を適時・適切に講じていくことが大変重要であると考えます。

一般質問

3月3日・4日・5日にわたり、市長・教育長の施政方針等の内容を中心に市政に関する一般質問を行い、6会派が代表質問を、会派に属さない議員4人が個人質問を行いました。その中から主な質問と答弁の内容をお知らせします。代表質問は、会派の構成人数により決まる発言時間に応じた紙面配分で掲載しています。

市民クラブ

箕輪 信矢

誰もがいきいきと暮らせる
まちづくりについて

【問】5歳児健診の実施方法を伺う。

【答】保健・医療・福祉・教育関係機関による会議体を設置し、意見交換や協議を通じて、健診の実施体制、健診後の支援体制の整備を考えている。また保護者には、発達障害や知的障害等に対する理解と、5歳児健診の重要性の周知・啓発を図りたいと考えている。今後は、関係機関における就学に向けた連携体制の推進を図り、子どもたちの笑顔と保護者の安心につながるよう取り組んでいく。

居心地の良い魅力的な
まちづくりについて

【問】本市の最重要課題と言える常盤平地域の再生について見解を伺う。

【答】常盤平団地は本市の人口増加に大きな貢献を果たしてきたところであるが、老朽化等の問題が生じ、団地の人口は最盛期から1万人以上減り、高齢化率は59・3%となった。こうした課題に対応するため、常盤平地域のまちづくり方針を策定し、再生に取り組むこととなった。またUR都市機構と「常盤平地域のまちづくりの連携及び協力に関する覚書」を締結し、まちづくりを推進していく体制を構築するとともに、UR都市機構も地域の再生について調査・検討を開始することとなった。常盤平地域のまちづくりへの取り組みが市全体に広がり、さらなる活性化につながるよう、地域と共に常盤平地域の再生に全力で取り組んでいく。

市民クラブ

西田 善昭

人と環境にやさしい
まちづくりについて

【問】本市が取り組んでいる庁内デジタル化の現状と今後について伺う。

【答】本市ではクラウドサービスや生成

AIの普及等の社会環境の変化および各種取り組みの進展を踏まえ、松戸市行政デジタル化ビジョンを改訂し、戦略的にさまざまな取り組みを進めている。市民の利便性向上に資する取り組みとして、本年1月末時点で松戸市オンライン申請システムは約16万件の利用があり、松戸市オンライン相談システムは約500件の相談を受けている。行政運営の効率化としては、AI議事録作成支援システムにより、約2600時間の作業時間を削減し、また生成AIも活用し始めた。さらなるデジタル化推進のため、メタバース市役所の構築や市民ポータルの実証等「はなれていても つながる スマート市役所」の実現を積極的に推進していく。

公明党

高橋 伸之

加齢性難聴者への
支援について

【問】令和7年度予算の重点事業として挙げられた加齢性難聴者への支援について、具体的な事業内容を伺う。

【答】令和7年度からこれまでのフレイル予防一体的推進事業等の普及啓発に加え、地域包括支援センターの認知症予防教室を活用した新たな聞こえの講座を実施する。具体的には聞こえのチェックを行い、必要に応じて受診勧奨を行う等、早期受診につなげるとともに、受診確認等を行っていく。受診の結果、補聴器が必要と診断された非課税世帯に対しては、補聴器購入費助成を行う等、一体的に事業を行っていく。

書かない窓口の実現について

【問】令和7年1月31日に「書かない窓口」の運用開始から1カ月が経過したが、現時点での運用状況や利用者の声および今後の展開について考えを伺う。

【答】書かない窓口の運用状況は、8支

所を含む16所属、18窓口で、年間取扱件数が多い45の手続きから実施し、1日約150件の利用実績がある。市民からは「記入する手間や迷うことも少なく、申請内容も口頭で伝えられたことにより、簡単に手続きが完了できた」「書く作業や待ち時間も少なく、早く手続きを終えられた」という声を頂いている。より多くの窓口で実施するため、分かりやすい市民への案内等、各課の良い事例等を共有し、継続した改善につなげていきたい。また「RPA」等を活用することで、職員の業務効率化も同時に実現可能なため、さらなる手続きの拡大も検討し「社会変化に適応した簡便なスマート市役所」の実現を推進していく。

公明党

井出 昌子

女性活躍社会の推進における
女性の参画拡大について

【問】組織内の特定グループの比率が、35%を超えて初めて組織内で公平な機会を得る「黄金の3割理論」に対する認識および将来的に女性管理職の割合を30%以上にすることが望ましいと考えるが見解を伺う。

【答】女性活躍社会推進における女性参画の拡大は、社会情勢の変化と市民ニーズが多様化する中で、新たな価値を創造しリスク管理の適応能力を高めるために、人材の多様性の確保が不可欠であり、女性職員が活躍できる環境整備が重要であると認識している。職員向けの「女性活躍推進研修」の開催等を通じて、管理的地位にある女性職員の人材確保や、管理職として活躍するキャリア形成の意識付けに努め、多岐にわたる部門で女性管理職の登用を図っている。管理的地位にある職員に占める女性割合に対する目標値については、各役職に占める女性の割合等の状況も踏まえ、国や先進自治体等の動向を注視し、調査研究していきたい。

公園の防犯カメラ
設置について

【問】防犯カメラが設置される公園の選定基準について伺う。

【答】小中学校の通学路に隣接する公園や、地域の要望等諸条件を勘案している。設置に当たっては、松戸市防犯カメラ管理運用要領に基づき、市民の権利保護等に配慮しながら、公園利用者が安全で安心できる環境づくりに努めていく。

まっどみらい

大橋 博

新庁舎整備について

【問】新庁舎の建物の規模および必要となる駐車場の台数について伺う。

【答】新庁舎全体の計画上の基準面積は、約3万6000㎡、3万7000平方メートルとしている。松戸市庁舎整備検討委員会の意見を十分参考としつつ、機能配置上、最も効率かつ効果的な規模を新庁舎整備基本計画において検討する。また当該地区は、駐車場附置義務条例により必要な駐車場の確保が定められている。仮に延べ面積が2万平方メートルであれば85台、約3万7000平方メートルで145台となるが、将来的なオンライン行政の進展等も踏まえ、適正な台数を基本計画において検討し整備する。

公共施設LED化について

【問】公共施設LED化について、今後の具体的なスケジュールを伺う。

【答】公共施設のLED化は、令和9年末の蛍光ランプの製造および輸出入の廃止に対応すべく、公共施設照明の現状調査委託費用を7年度当初予算に計上している。調査は268施設を予定しており、専門事業者が現在の照明の設置場所、型番や形状、器具台数等各施設を確認し、

照明器具台帳や配置図の作成等を行うものである。調査結果を基に8年度からの一括LED化に向け詳細な仕様の検討等を含め、計画的に進めたい。

博物館及び戸定邸とのコラボ
イベントに係る、アクセスについて

【問】市立博物館・戸定歴史館の2館が連携する特別展が開催予定であるが、両館は離れた場所にある。両展示を見てもうためのアクセス方法の見解を伺う。

【答】戸定歴史館・市立博物館連携特別展は、両館が共通のテーマを基にそれぞれの所蔵資料と視点で戸定邸を取り巻く松戸地域の近現代を紹介するもので、市内博物館2館が連携する展覧会としては、初の試みとなる。アクセスについては、市民や市外から来訪される方も、基本的には通常案内しているアクセス方法となるが、例えばシェアサイクルを利用いただく等、思い思いに松戸の景観や文化財に触れながらお越しいただくことも推奨していきたい。また周知はホームページやSNS、チラシ等に両館へのアクセスを掲載し、幅広く努めていく。

政策実現フォーラム・市民

原 裕二

国民健康保険について

【問】千葉県は令和12年度から保険料水準の県内統一化を検討しているが、本市の対応は。また国保財政健全化に向けた計画等を策定する予定はあるか伺う。

【答】千葉県が国民健康保険の保険者になって以降、県内市町村は県が策定する国民健康保険運営方針に基づき財政運営を行うとしているが、令和6年度から11年度の6年間を対象期間とする、第2期千葉県国民健康保険運営方針において、保険料水準の統一時期については明記されておらず、現時点で県からも示されていない状況である。本市としては、県の

動向を注視しつつ、毎年度保険料率における見直しの検討に当たっては、被保険者の急激な負担増につながる可能性があるよう留意してまいりたい。また国保財政健全化に向けた計画等の策定については、関係部署と協議の上、検討していく。

災害に強いまちづくりについて

①帰宅困難者等の一時滞在施設として、現在松戸駅周辺で指定されている施設は耐震改修済みだが、いずれも古い建物で大規模な震災発生時に十分機能する心配である。民間の建物等も含め指定を増やすべきと考えるが見解を伺う。

②石川県金沢市では国からの補助金等を活用し、スポーツ施設に防災備蓄倉庫を整備する等、災害対策強化を図っているが、本市でも災害対策を兼ねた文化スポーツ施設の整備をする考えはあるか伺う。

①現在、松戸市内の一時滞在施設は市民会館等5施設あり、収容想定人数を合計すると約1400人である。一方で松戸市地域防災計画の被害想定において、市内に滞留する市外常住者数は1万9154人と想定されており、市内の一時滞在施設が充足されていない現状である。そのため、今後も民間事業者や団体と、一時滞在施設の提供に関する災害時応援協定を締結できるよう努めていく。

②地域防災計画等、市全体の災害対策の方針に従い、施設の新設・改修時に担当部門と連携を図りながら検討したい。

日本共産党

宇津野 史行

平和・人権施策について

平和事業に人権擁護の視点を加えた取り組みを行う考えはないか伺う。

令和7年度の平和事業は人権に特化した内容ではないが、戦争は最大の人権侵害という認識のもと「地球のステ

ジ」では海外ボランティアの医療救急活動を行う医師が紛争地域等の様子や出会った人々の話を音楽や語りで伝え、平和の大切さを訴えてきた。今後もさまざまな視点を含め平和事業に取り組んでいく。

民間保育士給与の実態について

保育士給与調査の結果について、公定価格の件費に各種手当を加えた想定と実際の支給額の乖離は。また人件費の支給割合は保育施設ごとに差があるか。

令和3年度の民間保育施設における正規保育士の平均給与額は約456万円である。一方で公定価格に松戸手当等を加えた給与額は511万円で55万円の差が生じている。また人件費の支給割合は民間保育園90・8%、認定こども園98・9%、小規模保育事業所81・6%である。支給額と支給割合の差については、改善の必要性を認識しており、6年度から施設長等が賃金改善・松戸手当確認書を用いて、保育士に確認し市へ報告するよう取り組んでいる。今後も公定価格の人件費相当分等が保育士に行き渡るよう、要請・確認を行い処遇改善に努めていく。

常盤平団地の再生について

UR都市機構が開催した常盤平団地の再生における団地住民への説明会と内容のものに加えて、本市策定の「常盤平地域のまちづくり方針」についても、市民への説明会を開催する考えはないか。

「常盤平地域のまちづくり方針」の公表および「常盤平地域のまちづくりの連携及び協力に関する覚書」を本市ホームページで発信している他、広報まっどでの周知も検討している。今後、UR都市機構の動き等とも連携しながら、適当な時期に適切な情報発信に努めていく。

立憲民主党

二階堂 剛

「福祉まるごと相談窓口」について

相談状況と重層的支援の取り組みについて伺う。

福祉まるごと相談窓口は属性や世代を問わず包括的に相談を受け、相談者が利用できる制度やサービスへの接続を行っている。令和5年度の新規相談件数は1940件で、本人・家族からの相談が約8割、約6割が65歳以上からの相談であった。病気やけがに関する相談が最も多く、また課題が複数にまたがる相談は全体の55%を占めている。課題の解決に向け、単独の相談支援機関等での対応が難しい場合には各種支援機関と連携しながら取り組んでいる。

学校給食への地元野菜の提供拡大について

学校給食への地元野菜の提供拡大に向けた進捗を伺う。

本市では授業の一環として、市内小学校4校を訪問し「松戸えだまめ」をPRするとともに、新鮮な枝豆を児童に食べてもらう取り組みを行っている。本年2月には、矢切地区の農業団体の協力により「矢切ねぎ」を地元の子どもたちに味わってもらう取り組みが実現し、小学校2校で学校給食の献立に追加された。

随意契約の公開について

随意契約およびガイドラインの公表について、検討の進捗を伺う。

近隣の自治体では随意契約の結果やガイドラインを公表しており、本市においても透明性確保や情報公開の観点から、随意契約の結果やガイドラインを公表すべきと認識している。令和7年度中に「松戸市随意契約ガイドライン」を改訂し、職員向けの研修で、随意契約の透明性確保の重要性を説きながら、随意契約の結果の公表についても周知していくことが効果的であると考えている。

無所属

鴈野 聡

松戸市病院事業の経営について

「安定した医療提供体制を維持するためには、経常損益がプラスとなる適正規模への病床数削減、もしくは民間譲渡等の劇的な経営改善が不可欠だが、市長の見解と戦略的判断を伺う。

経営形態の移行による経営改善は、一長一短がある。経営形態の移行で経営状況改善につながった他市の事例は認識しているが、職員の処遇の維持や、移行に要する多大なコストへの対応等の課題がある。経営形態の移行が、直ちに諸課題解決に至らないことも想定されるため、慎重な判断が必要である。病床数については、経営計画の見直しの中で、一番望ましい病院の規模等を探っていきたい。

無所属

嶋原 舞

子どもへの愛着（アタッチメント）について

子育てを社会全体で支えることと、養育者が子どもと愛着を築くことの重要性をどう捉え、施策に反映しているのか。

養育者等との愛着形成は子どもの情緒の安定や自己肯定感等に寄与するものと考えている。一方で養育者等の負担軽減のため地域や社会が支えていくことも重要である。本市ではこども誰でも通園制度をはじめ、乳幼児期の保育・教育環境の充実等の取り組みを進めている。今後も養育者等と子どもとの愛着形成を尊重しつつ、社会全体で子育てを支える仕組みを強化し、家庭と社会が相互に補完し合う環境づくりを推進していく。



無所属

湯浅 文

市教育委員会における医療的ケア実施体制変更の取組について

令和6年度から看護師が学校への固定配置から巡回型へと変わったことによる課題と成果を伺う。

医療的ケア実施体制変更に伴う課題は保護者との認識合わせである。この課題に対し、年度当初に行う面談での詳細な説明や必要に応じた電話対応等を重ね、理解が深まるよう努めた。成果は、複数の医療的ケア看護職員が児童生徒の「自立と社会参加を促す」という方針を共有し関わることで個々の成長を一層促すことが可能となった。またローテーションの柔軟化により、対応終了後の児童生徒へも学期ごとの学校訪問が可能となりフォローアップができるようになった。

無所属

山中 啓之

松戸市と社会福祉協議会の関係について

市の関与の強化と会費の在り方についての改善に向けた進捗を伺う。

一般会費は地域福祉の充実のため、市民から町会・自治会を通じ、松戸市社会福祉協議会に納入され、その一部は各地区社会福祉協議会に交付される。一部の地区社会福祉協議会では町会・自治会へ助成金を支出しており、その効率性等は課題とされてきた。これは関係法令等に抵触するものではないと考えるが、理事会等の中で市民の声を取り上げることが可能と考えている。会費の在り方について、疑念を抱かせることがないよう地域福祉のための適切な使用を助言していく。



